



2021年5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 や ま や  
代表者の役職名 代表取締役会長 山内英靖  
(コード番号 9994 東証第一部)  
問い合わせ先 執行役員経理部長 田原口裕基  
T E L (022) 742-3114 (直通)

## 剰余金の配当（期末配当および創業50周年記念配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当および創業50周年記念配当）を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月15日公表)	前期実績 (2020年3月期期末)
基準日	2021年3月31日	2021年3月31日	2020年3月31日
1株あたり配当金	普通配当 24円00銭 記念配当 2円00銭	普通配当 24円00銭 記念配当 2円00銭	普通配当 23円00銭
配当金の総額	281百万円	—	249百万円
効力発生日	2021年6月7日	—	2020年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 配当の理由

当社は、本日公表の「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益を△79億79百万円としております。しかし、その主な原因は当社の連結子会社であるチムニー(株)に係るのれんの減損損失64億2百万円等であります。こののれんの減損損失により、連結上の純資産は減少いたしますが、酒販事業における業績は良好であり、当社単体としての経営成績に及ぼす影響はございません。また、これにより、2022年3月期以降は、のれんの残償却期間である12年あまりに渡って、年間4億92百万円の償却負担がなくなり、同期間中は、連結上の営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を、押し上げる効果が見込まれます。

当連結会計年度の酒販事業における売上高は1,348億57百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は62億27百万円(同54.4%増)となり、通期業績において前期実績を大きく上回りました。このため、会社創業50周年を記念した配当を実施いたします。

当社は、2020年11月26日をもちまして会社創業50周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝を申し上げます。つきましては、株主の皆様のご支援にお応えするため、2021年3月31日を基準日とする2021年3月期の期末配当において、普通配当24円に記念配当2円を加え、期末の1株当たりの配当を26円にいたします。

この結果、1株当たりの年間配当額は、既に実施した中間配当24円と合わせまして年間50円となります。

なお、当社は定款の定めにより、利益剰余金の配当は当社取締役会の決議によることとしております。

(参考) 2021年3月期 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	24円00銭	26円00銭 (普通配当24円00銭) (記念配当2円00銭)	50円00銭 (普通配当48円00銭) (記念配当2円00銭)
前期実績(2020年3月期)	23円00銭	23円00銭	46円00銭

以上